

月がきれい

作詞・作曲・編曲 カンダマサヨシ 歌 初音ミク

雨上がりの帰路が弾く
街の光 煩わしくて
ビルの間 選び歩く
遠ざけるように

誰も知らない 気づきやしない
そんな日々 meaning はなくて
でも不意打ち 君がかけた
声に驚いた

君の瞳に映る世界 どんな景色か
知りたくて踏み出した その時から

君なしじゃいけない
そうさ寝ても覚めても消えてくれなくて
煌めきをくれたの
いつか諦めてしまっていた世界に
君なしじゃいけない
当たり前のこんな日々が輝いて
未来を願うばかり
届かなくても いま――

木漏れ日の下 遠く近く
眺めていた 見つめていた
君が笑う その世界は
綺麗な夢だった

はじめてだった 1人きりの
時間が長く 苦しいなんて
知らなかったよ こんな風に
寂しくなれるんだね

知らないままの幸せもきっとあるだろう
それでもこの憂鬱を抱きしめたい

知らなかった自分が
君に会うたび溢れて止まらないの
恥ずかしいくらいに
痛む心の歪みでさえ愛おしい
知らなかった言葉が
君に会うたび溢れて止まらなくて
でも君を前にすると
息が止まるの――

言いたい事も言えない事も
いつの間にか増えてもう時々嫌になるけど
逃げたくはない逃だせるわけがない
私の日常に meaning をくれた君がいるから

君の瞳に映る世界 どんな景色か
知りたくて変わると決めた あの夜から

いつか終わりがくる
この日々の先に憂いしかなくても
消しされない想い
この世界はこんなにも美しい――

君なしじゃいけない
そうさ寝ても覚めても消えてくれなくて
煌めきをくれたの
いつか諦めてしまっていた世界に
君なしじゃいけない
当たり前の日々がこんなに輝いて
未来を願うばかり
届かなくても――

明日を信じてるから